

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸  
2022年度 第3回 キャリア委員会  
議事録

開催日時：2022年12月6日（火）13:00～14:30

開催場所：兵庫国際交流会館 2階 研修室1（兵庫県神戸市中央区脇浜町1-2-8）

出席校（委員、代理）：

- ◎関西学院大学・聖和短期大学（森、犬伏）、  
○関西福祉大学（末政）、○神戸国際大学（犬飼）、大手前大学・大手前短期大学（浅井）、  
関西国際大学（藤井）、甲南大学（天羽）、神戸学院大学（住本）、神戸松蔭女子学院大学（奥原）、  
神戸親和女子大学（宮内）、神戸大学（田中、長塚）、神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部（木村）、  
姫路獨協大学（増田）、兵庫県立大学（三嶋）、流通科学大学（屋久）

オブザーバー：神戸市外国語大学（浅井）

※ ◎は委員長校、○は副委員長校 ※ 敬称略

欠席校：○甲南女子大学、芦屋大学、神戸海星女子学院大学、園田学園女子大学・園田学園女子短期大学部、  
兵庫大学、兵庫大学短期大学部

事務局：関西学院大学（永野）

大学コンソーシアムひょうご神戸（阿久根、山崎、佐藤、小畑、日出嶋、森本）

## I. 協議事項

1. 情報公開する企業100社（2022年度分15社）の選定について（資料1）
2. 2022年度キャリア委員会事業自己評価について（資料2）
  - ① 大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
  - ② 県内企業・大学等の魅力を情報発信
  - ③ 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム（ひょうご留学生インターンシップ）
  - ④ 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム（県内企業海外事業展開に係る  
留学生活用事業）

## II. 懇談事項

1. 来期の留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムについて

## III. 連絡・調整事項

1. 2022年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について  
第4回委員会 2月：2023年度 事業計画・予算（案）  
第5回委員会 3月：2022年度 事業報告・決算（案）

以上

### <資料一覧>

- ・2022年度 第3回キャリア委員会 次第
- ・(資料1-1) 【依頼文書】掲載企業推薦依頼に関して
- ・(資料1-2) 2019・2020・2021年度 地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト掲載企業一覧
- ・(資料1-3) 2022年度 地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト 掲載企業一覧（案）
- ・(資料2-1) 【理事長名依頼状】2022事業計画の「自己評価」の作成依頼
- ・(資料2-2) 2022年度 キャリア委員会事業 自己評価（案）①～④
- ・(参考資料) 関係規定（抜粋）

## 【I. 協議事項】

1. 情報公開する企業 100 社（2022 年度分 15 社）の選定について  
事務局から資料 1-1～1-3 に基づき説明があり、協議した結果、原案の通り新たに 15 社を情報サイトに公開することが承認された。
2. 2022 年度キャリア委員会事業自己評価について  
標記について、事務局から資料 2-1 及び 2-2 に基づき説明があり、全員異議なく承認された。

## 【II. 懇談事項】

1. 来期の留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムについて  
森委員長から、兵庫県産業労働部国際局国際課からの受託事業「県内企業海外事業展開に係る留学生生活用事業」の受託費 11,498,000 円が本年度で終了になるため、来期の「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」について委員各位のご意見を伺いたい旨の説明があった。なお、本委員会において、委員各位から頂いた意見については、企画運営委員会の議を経て理事会に上程し、審議了承いただく旨の説明が併せてあった。  
事務局より、兵庫県産業労働部国際局国際課受託事業費が本年度で終了となる背景について説明があった。
  - ・「県内企業海外事業展開に係る留学生生活用事業」を通して、県内留学生の日本での就職率の向上には繋がっているが、県内企業への就職率が低いことが課題であると捉えている。兵庫県産業労働部国際局国際課としては、県内企業への留学生の就職促進を図り県内企業の活性化を促進するという事業計画から、県内企業の外国籍社員の受入体制を強化するための企業支援（例：就労系在留資格（ビザ）申請相談員の設置等）に舵をきるとのことである。
  - ・兵庫県の受託事業は原則としては 3 年を目途に見直すことになっているが、当事業は 7 年間継続していたため今回見直しが入った。その結果、11,498,000 円の受託費が今年度で終了となる。

委員より、以下の意見が出された。

- ・留学生支援プログラムの「ひょうご留学生インターンシップ」については、本学からも多くの留学生が参加させていただいている。参加した留学生からは、非常に有意義であったとの声も多くいただいている。単独の大学のみでは、このように充実した留学生に特化したインターンシップを実施することは困難なので、是非、継続実施していただきたい。
- ・同規模の「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」を実施するのは、予算的にも困難なのか。  
⇒大学コンソの予算としては、繰越金 4,500 万円から充当して、「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」を一部継続するかどうかを検討することは可能ではないか。
- ・次年度の 1 年間に限り予算規模を 700～800 万円程度に圧縮して、「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」を実施し、令和 5 年度中に次年度に向けてのプログラムの在り方を再検討してはどうか。
- ・「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」を全て打ち切るのではなく、規模を縮小してでも継続していただきたい。
- ・令和 5 年度中に次年度に向けて「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」のスリム化を検討してはどうか。
- ・企業との接点を持つ事業と留学生への就職支援事業は、是非継続していただきたい。
- ・大学コンソが留学生を企業に送りだすための事業をしっかりと行ってくれていたことを、今回改めて気付かされた。「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」については、長い目でみて継続していただきたい。
- ・兵庫県立大学の国際商経学部グローバルビジネスコースに所属する外国人留学生は、就職活動で苦戦している。同コースは全て英語で授業を行っているため、当該留学生の日本語能力が所定のレベルに到達できていないのが実情である。そのような状況下できめ細かな日本語講座を実施していただいているので、とても有難い。
- ・ひょうご留学生インターンシップでは、大変お世話になっている。1 大学ではこのような手厚いインターンシップを実施することは困難である。同インターンシップは、質が高く教育効果も高いため是非継続して実施していただきたい。
- ・キャリア関係事業では、余り費用をかけずに実施できる事業もあるのではないかと。例えば、動画の字幕対象言語を 6 カ国から減少させる、講師を招く代わりにオンデマンドにする、報告会を Web 上ですべて会場費を節約するなど予算を節減できるのではないかと。

⇒県の受託費約 1,200 万円の内、人件費は 2 名雇用で約 700 万円を占めている。動画 5 本の制作費は約 200 万円であるが、動画の本数も増えてきたので、見直す時期であると考えている。6 か国語での配信は県の方針であったので変更出来なかった事情がある。

・本件についての今後の手続きについて説明していただきたい。

⇒本委員会において「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」の内、事業の選別や予算規模を決定していただきたい。その後、12 月 20 日（火）開催の企画運営委員会の議を経て 1 月 19 日（木）開催の理事会で審議了承いただくことになる。一般社団法人法の規定により、3 月末までに次年度予算を決定する必要がある。

・県の受託事業費が打ち切られることにより影響を受ける事業は何か。

⇒「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」が全てなくなることになるので、課題④取組 1-1 と課題④取組 1-2 が影響を受けることになる。

・県の受託事業費で賄っている 2 名で「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」を実施しているのか？

⇒大学コンソでは、兵庫県総務部教育課受託事業費（課題①）で 1 名、兵庫県産業労働部国際局国際課受託事業費（課題④）で 2 名の事務局員を雇用しており、県の受託事業を 3 名で行っている。

・従来 2 名で実施していた留学生インターンシップの業務を 1 名で実施するのは、困難ではないか。

⇒大学コンソでは、インターンシップ等の繁忙期には、業務委託契約を組み合わせることで事業を運営している。留学生インターンシップと合同企業説明会を継続するのであれば、業務委託費含む事業費と人件費で約 500 万円程度の経費が必要になると考えている。

・「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」を縮小するとしてもどこまで効果的に行えるのか、職員 1 名ではどこまで対応できるのか、大学に協力を求められても対応できるのか疑問である。大学コンソが培ってきたスキームなので、ここで途切れてしまうのは問題ではないか。

・「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」については、できるだけ質を落とすことなく継続していただきたいというのが各大学に共通する意見ではないか。

事務局より、欠席大学からの意見について紹介があった。

・本学は留学生の在籍比率が高いこともあり、過去もこの取り組みを利用させていただいて、留学生の就職活動に対する意識を高めてきました。兵庫県の事業が終わるとお聞きしたのですが、全てではないにせよ、継続をお願いしたい。

・外国人留学生の存在は、人数としては少数であるが、大学内の活性化、企業の多様性、イノベーション促進において、重要な位置づけになっていると考えている。

・留学生数は各大学で異なるが、コンソは個々の大学事情ではなく、加盟校全体で事業を検討すべきである。

・留学生は特殊性があり支援が必要であるため、例えミニマムであったとしても「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」は継続し、産官学連携の流れを続けることが大切なのではないか。

#### <合意事項>

・「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」については、キャリア委員会としては、継続実施する。

・実施事業及び予算規模については、コンソ事務局で原案を策定し、キャリア委員に事前にご意見を伺った後、企画運営委員会の議を経て理事会で審議了承いただく。

### 【Ⅲ. 連絡・調整事項】

#### 1. 2022 年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について

事務局より 2022 年度第 4 回及び第 5 回のキャリア委員会開催予定と主な議題について案内があった。

以上をもって、第 3 回キャリア委員会は終了した。

以上